

～ひとに心 まちに風～
いきいき生活・しあわせ実感都市 はむら



はむらの 教育

～元気に育て!はむらっ子!～



※5月30日に行われた、羽村東小学校の運動会の様子です。

平成 22 年度 多摩・島しょ子ども体験塾 子ども宇宙塾「きみも宇宙飛行士に」

「地球は青かった」のこぼれ話を残したガガーリンが大気圏を飛び出し、人類初の宇宙飛行士になってから 49 年が経ちました。

日本では、現在までに 8 名の宇宙飛行士が誕生しています。今年に入ってからも、山崎直子さんがアメリカのスペースシャトルで宇宙への挑戦を果たしました。また、先月初めにはロシアのソユーズにより、国際宇宙ステーション (ISS) 約 5 ヶ月間の長期滞在を経験して、野口聡一さんが無事地球に帰還しました。お二人とも、ISS における日本の実験棟「きぼう」の整備に大きな役割を果たしました。

5 月下旬には、金星探査機「あかつき」が、無事打ち上げられ、現在は金星に向け飛行を続けています。メッセージを託した方もたくさんいらっしゃると思います。

更に喜ばしいことには、あの小惑星探査機「はやぶさ」が、地球に戻ってきたのです。数々の故障や困難を乗り越えて、約 3 億キロも離れた小惑星「イトカワ」に着陸し、そのサンプルを採取するという偉大な任務を果たした「はやぶさ」は、日本の宇宙開発史上特筆すべき成功となりました。

このように多くのトピックスが生まれている今年、羽村市・福生市・瑞穂町による「子ども宇宙塾『きみも宇宙飛行士に』」が開催されます。

宇宙に染まる 1 週間、宇宙に浸る 1 週間

JAXA のタウンミーティングを始め、ロケットや人工衛星などの模型の展示や記録映像鑑賞会、夜の天体観測など、盛りだくさんの内容に、まさに「きみも宇宙飛行士に」。

催し物 (内容は変更になる場合があります)

☆展示

○宇宙ロケット、人工衛星、宇宙服などの模型等

☆映像上映会

○宇宙の様子や宇宙から見た地球などの映像上映

☆タウンミーティング

○JAXA 役職員との意見交換会等

☆サイエンスワークショップ

○おもしろ宇宙科学教室 (コズミックカレッジ)

○ゆとろぎ天文台

※この他にも JAXA 職員による小中学生対象の宇宙飛行士になるためのお話 (大ホール)、宇宙服での記念撮影会、宇宙食の展示など、たくさん楽しい催しを計画中です。詳しくは、チラシ等をご覧ください。



国際宇宙ステーションの組立作業を行う宇宙飛行士
写真提供: NASA

会期・会場等

☆期間 平成 22 年 8 月 17 日 (火) ~ 22 日 (日)

☆場所 羽村市生涯学習センターゆとろぎ

☆時間 各催し物ごとに異なります。

詳しくはチラシ等をご覧ください。下記へお問合せ下さい。



国際宇宙ステーション (ISS) 想像図
写真提供: JAXA

この事業は、東京都市長会による「多摩・島しょ子ども体験塾」事業として、羽村市・福生市・瑞穂町による実行委員会により開催します。

●お問合せ 羽村市・福生市・瑞穂町子ども体験塾実行委員会事務局
羽村市生涯学習センターゆとろぎ 042-570-0707/9:00 ~ 17:00 月曜日休館

羽村市の社会教育関係委員 (敬称略)

■社会教育委員 (◎…議長、○…副議長)

学校関係者	愛甲 慎二	家庭教育の 向上活動者	○木村 兼江
社会関係者	田村 義明		望月 光治
	並木 太一	石黒 奈保美	
	江久保 千英	◎川津 紘順	
	古川 光昭	雨倉 千恵子	
		学識経験者	

■文化財保護審議会委員 (◎…会長、○…副会長)

◎白井 裕泰	持田 友宏
○坂上 洋之	坂詰 智美
櫻沢 一昭	金子 淳
和田 哲	

■スポーツ振興審議会委員 (◎…会長、○…副会長)

学校関係者	嘉陽 義明	社会関係者	藤田 友美
社会関係者	◎柴田 俊男	学識経験者	秋田 裕子
	○青島 一也		中村 平
	新島二三彦	関係行政 機関の職員	澤村 航
	小山 茂樹		

■体育指導委員 (◎…会長、○…副会長)

◎新島 二三彦	山本 裕夫
○吉江 友秋	佐々木 さと子
○田村 芳雄	成瀬 一明
○岡 あけみ	飯塚 竹男
森田 幸雄	梅垣 明子
加藤 正美	宇都 光典
堀口 和美	山下 博彦
正親 和代	郷 佳代
渋谷 権司	小作 敬子

■図書館協議会委員 (◎…会長、○…副会長)

学校関係者	江本 裕子	学識経験者	◎塚原 博
	嘉陽 義明		○野元 弘幸
社会関係者	関澤 和代	市民公募 委員	藤沢 穰
	塩田真紀子		花島 千賀
家庭関係者	倉中 理恵		
	山本 一代		

**社会教育関係委員が
委嘱・任命されました**

羽村市の社会教育行政の大きな力となる社会教育関係委員の委嘱・任命式が、4月18日に行われました。任期は、平成22年4月1日から平成24年3月31日までの2年間で、(昨年7月に委嘱された図書館協議会委員を除きます)。

■社会教育委員の会議

羽村市の社会教育がどうあるべきか、課題と解決策を研究し、教育委員会に助言します。

■文化財保護審議会

羽村市の文化財の保護や活用について、調査・協議し、教育委員会に建議します。

■スポーツ振興審議会

羽村市のスポーツ振興に関する重要事項について調査・審議し、教育委員会に建議します。

■体育指導委員協議会

スポーツ振興のために、市民へのスポーツに関する指導・助言(実技指導も含む)を行います。

■図書館協議会

図書館の運営のために必要な事項について調査・協議し、教育委員会へ意見具申します。

●問合せ

図書館 生涯学習課

紹介します! 小中一貫教育の取り組み

小中一貫教育の取り組みが始まりました。

羽村市小中一貫教育基本計画を受けて、羽村第三中学校区の小・中学校(武蔵野小学校・羽村第三中学校)では来年度の完全実施に向け、実施計画の作成や実践に取り組んでいます。また、羽村第一中学校区の小・中学校(羽村東小学校・羽村西小学校・小作台小学校・羽村第一中学校)及び羽村第二中学校区の小・中学校(富士見小学校・栄小学校・松林小学校・羽村第二中学校)においても、平成24年度の実施に向け、研究・実践に取り組んでいます。

「はむらの教育」では、小中一貫教育の進捗状況や学校の取り組みを毎月紹介していきます。また、羽村市ホームページ(<http://www.city.hamura.tokyo.jp/>)でも、随時、情報を提供していきますのでご覧ください。

乗り入れ授業の様子

4月23日、武蔵野小学校外国語活動の6年生の授業に、羽村第三中学校の英語科教員が乗り入れ、チームティーチングによる授業を行いました。

授業内容は、アルファベットの発音や大文字・小文字に慣れ親しむことです。「ABCソング」を大きく口を動かして歌い、また、「ABCカルタ」では中学校の先生のアルファベットの発音をしっかり耳で聴きとり、アルファベット文字に結びつけることに取り組んでいました。子供たちは、中学校の先生との授業に興味をもって楽しんでいる様子でした。

●武蔵野小学校6年生の感想文から

- ・中学校の先生と英語ができて楽しかった!!私たちが来年になったらこんな先生に習うんだなあと思った。
- ・さすが中学校の先生と思いました。だって、教え方がうまくてやさしくて楽しかったからです。
- ・中学生までにアルファベットを完璧に覚えたいです。



●乗り入れ授業の成果について

(武蔵野小学校教員)

- ・子供たちにとって、中学校の先生という新鮮さと、来年お世話になるかもという期待感があった。

(羽村第三中学校教員)

- ・小学生は、班作りやゲームの用意などに時間がかかることが分かり、中学1年生に入学したてのころのペース配分の参考になった。

(英語コーディネーター)

- ・子供たちが中学校の先生にふれられて、中学校への学習意欲が高まった。また、中学校のやり方と雰囲気慣れ親しむことができた。中学校の先生は、小学校の実態が中学校への授業へ生かせると思う。



教務主任研修会の様子

教務主任研修会では、「小中一貫教育を進めていく上でのポイント」を中心の研修テーマとして、中学校区ごとにどのように教育課題を解決していくかについて、小学校、中学校の教務主任の先生たちが一緒に考えています。学校での意見などをまとめながら、乗り入れ授業の方法や羽村市独自の特色ある指導内容【英語教育、羽村学(郷土学習)、人間学(キャリア教育)】の取り組み方、交流の方法などについて研究を重ねています。研究の成果は、今後の各学校、各中学校区での取り組みに生かしていく予定です。



副担任制について

今年度、武蔵野小学校1年生に副担任を配置しました。慣れない学校生活への安定と指導内容の徹底を図るために、担任とともに指導にあたります。

●副担任のコメント

1年生の子供たち一人ひとりが早く小学校での集団行動に慣れ、充実した学校生活を送ることができるように担任の先生と一緒に指導しています。



▲ 給食指導(左)や授業(右)を2名の教員で行っています。

英語コーディネーター・学習コーディネーター

羽村市独自の特色ある教育である「英語教育」「羽村学(郷土学習)」「人間学(キャリア教育)」の指導体制の充実のために「英語コーディネーター」と「学習コーディネーター」を1名ずつ配置しました。

「英語コーディネーター」は、英語教育のカリキュラムに沿って外国人講師(ALT)を導入し、小学校の英語活動と中学校の英語科を効果的につなぎ、授業の質を高めるアドバイスをしています。

「学習コーディネーター」は、羽村学(郷土学習)と人間学(キャリア教育)のカリキュラムに沿って地域の人材の発掘や導入をしたり、授業の際のアドバイスをしたりしています。

今年度は、羽村第三中学校区を中心に活動をしていきます。

「英語教育」「羽村学(郷土学習)」「人間学(キャリア教育)」の取り組みについては、次号の「はむらの教育」で紹介いたします。

●問合せ 指導室小中一貫教育担当

**子ども議会を
開催します**

21世紀を担う子どもたちが市政への関心を持ち、積極的にまちづくりに取り組み契機とするとともに、子どもの目線から見た意見を市政に反映させることを目的として「子ども議会」を開催します。

「子ども議会」の議員は、小学校6年生と中学校2年生。市内各校から2名ずつ選出された20名が子どもの目線から、市政への質問、疑問をぶつけます。

ぜひお越しいただき、子どもたちの意見に耳を傾けてみませんか。

○日時 平成22年8月29日(日)
午前9時～12時

○会場 羽村市役所5階市議会議場

問合せ 教育総務課



羽村市学校保健会特別講演会

「子どもの能力を伸ばす
～早起き・早寝のすすめ～」

子どもたちの基本的な生活習慣の乱れからくる様々な影響や、子どもの能力を伸ばす生活リズムについて、講演会を行います。皆様のご参加をお待ちしております。

日時：7月10日(土)

午後2時40分～

場所：生涯学習センターゆとろぎ
小ホール

講師：東京ベイ・浦安市川医療セン
ターセンター長 神山 潤氏

主催：羽村市学校保健会

主権：羽村市学校保健会

問合せ 教育総務課

**新たな生涯学習基本計画の
策定に向けて**

平成24年度を初年度とする新たな「生涯学習基本計画」の策定に向けて、今年度は、この計画の策定にあたり、学識経験者や公共的な関係団体の代表者、市民公募委員で構成する「羽村市生涯学習基本計画審議会」による審議や、市民の皆さんによるワークショップの開催などを予定しています。

策定の経過については、随時、広

報はむらやホームページとともにお知らせしていきます。

また、今年度より生涯学習基本計画担当を設置し、計画の策定に関する事務は、生涯学習センターゆとろぎの生涯学習課から移り、市役所3階の生涯学習基本計画担当で行うこととなります。

問合せ 生涯学習基本計画担当

教育委員会定例会報告

教育委員会定例会(第5回～7回)について以下のとおり行われ、提出された議案については、次のとおり議決されました。

第5回教育委員会臨時会
(平成22年3月30日)

議案

- 行政組織の変更に伴う関係規則の整備に関する規則
- 行政組織の変更等に伴う関係規程の整備に関する規程
- 羽村市社会教育委員の委嘱について
- 羽村市文化財保護審議会委員の委嘱について
- 羽村市スポーツ振興審議会委員の任命について
- 羽村市体育指導委員の委嘱について

問合せ 教育総務課

て

○教育委員会職員等の人事について
※このほか、羽村市における社会教育施設の在り方について(答申)、羽村市子ども読書活動推進計画(改訂版)についてなどの報告がありました。

第6回教育委員会定例会
(平成22年4月20日)

議案

- 専決処分承認を求めることについて(社会教育委員の委嘱について)
- 羽村市スポーツ振興審議会委員の任命について

第7回教育委員会定例会
(平成22年5月18日)

議案

- 専決処分の承認を求めることについて(羽村市立学校職員出勤簿整理規程の一部を改正する規程)
- 羽村市特別支援教育就学指導委員会条例の一部を改正する条例の意見聴取について
- 平成22年度羽村市一般会計補正予算(第1号)のうち教育費に係る部分の意見聴取について

国や東京都、公的機関等による奨学金制度のご案内

奨学金制度	金額(月額)	募集期間	問合せ先
日本学生支援機構奨学金 (旧日本育英会)	30,000円～	随 時	日本学生支援機構(奨学事業部) 0570-03-7240
東京都育英資金	18,000円～	随 時	(財)東京都私学財団 03-5206-7929
私立高等学校等 授業料軽減助成金	98,000円～ (年額軽減)	7月24日まで	(財)東京都私学財団 03-5206-7925
私立高等学校等 入学支度金貸付制度	200,000円 (入学時)	入学決定直後 (入学金支払前)	(財)東京都私学財団 03-5206-7926
東京都母子福祉資金 (修学資金)	45,000円～	随 時	福祉保健局少子社会対策部 育成支援課福祉資金係 03-5320-4126
東京都女性福祉資金 (修学資金)			
東京都介護福祉士等 修学資金	50,000円	随 時	福祉保健局生活福祉部 地域福祉推進課福祉人材対策係 03-5320-4049
東京都社会福祉協議会 生活福祉資金(修学資金)	～60,000円	随 時	(社)東京都社会福祉協議会 03-3268-7173
国の教育ローン	3,000,000円 (貸付限度額)	随 時	日本政策金融公庫 (教育ローンコールセンター) 0570-008656
交通遺児奨学金	20,000円～	9月30日まで	(財)交通遺児育英会 03-3556-0773
あしなが奨学金	25,000円～	7月30日まで	あしなが育英会 03-3221-0888
交通遺児助成金	60,000円 (年額)	7月9日まで	(財)出光文化福祉財団 03-5428-6203

※対象、条件など詳しいことについては、各問合せ先にご相談ください。

小・中学校の行事予定 22年7月～9月

詳しくは、各学校にお問合せください。

●羽村東小学校

9月15日(水)・16日(木) 学校公開
9月24日(金)

道徳授業地区公開講座(1・2年生)

9月27日(月)

道徳授業地区公開講座(3・4年生)

9月28日(火)

道徳授業地区公開講座(5・6年生)

●羽村西小学校

8月28日(土) 星空のコンサート

●富士見小学校

9月18日(土) 運動会

●栄小学校

8月26日(木) 薬物乱用防止教室

8月30日(月)～9月3日(金)

夏休み作品展

●小作台小学校

9月25日(土) 学校公開

●武蔵野小学校

9月8日(水) 道徳授業地区公開講座

9月19日(日)

オータムフェスティバル

●羽村第一中学校

7月12日(月) セーフティ教室

9月25日(土) 体育大会

●羽村第二中学校

7月5日(月)～9日(金)

公開授業週間

8月30日(月)～9月3日(金)

公開授業週間

9月25日(土) 体育大会

●羽村第三中学校

9月25日(土) 体育大会

「子育てパパ・ママの読書たいむ」
利用者募集中!

子育て中のお父さん、お母さん、子どもと離れてゆつくりと羽村市図書館を利用しませんか?

ゆとろぎ保育室「さくらんぼ」で、専属の保育士がお子さんをお預りするサービスを行っております。

【預けられる日時】原則として毎月第2・第4水曜日の午前10時～正午

【利用できる方】羽村市図書館を利用する、1歳6ヶ月以上の幼児の親

【利用料】子ども1人500円

【定員】先着15人

【申込方法】利用希望日8日前の午後5時までに直接ゆとろぎ窓口へ。

●問合せ ゆとろぎ

ゆとろぎ創作室の

無料開放のお知らせ

夏休み期間に青少年の学習の場所として創作室を開放します。利用できる日時は、次のとおりです。

○7月17日(土)～8月28日(土)

午前9時から午後5時まで
(正午から午後1時まででは閉室します。)

※一般利用により開放できない日もあります。

●問合せ ゆとろぎ

図書館からのお知らせ

夏休み期間中は、開館時間が変わります。

期間 7月20日(火)～8月31日(火)

○本館・・・午前9時～午後8時

○小作台図書室・・・午前10時～午後5時

※休館日は、毎週月曜日と8月17日(火)の館内整理日です。

●問合せ 図書館

郷土博物館からのお知らせ

常設展示のメンテナンスのため、本館・旧下田家住宅とも7月5日(月)・6日(火)は休館します。

●問合せ 郷土博物館

羽村クラブが

都民大会で優勝しました

平成22年5月9日(日)・15日(土)

に府中市郷土の森野球場・府中市健康センターグラウンドで開催された、第63回都民体育大会(春季大会)ソフトボール男子の部で、羽村市を代表して参加した「羽村クラブ」が優勝しました。



●問合せ 体育課

INFORMATION

生涯学習センターゆとろぎ Tel.570-0707
図書館 Tel.554-2280
郷土博物館 Tel.558-2561
スポーツセンター Tel.555-0033
スイミングセンター Tel.579-3210
弓道場 Tel.555-9255

羽村東小学校 Tel.554-5663
羽村西小学校 Tel.554-2034
富士見小学校 Tel.554-6449
栄小学校 Tel.554-2024
松林小学校 Tel.554-7800

小作台小学校 Tel.554-1431
武蔵野小学校 Tel.555-6904
羽村第一中学校 Tel.554-2012
羽村第二中学校 Tel.554-2041
羽村第三中学校 Tel.555-5131
羽村市教育相談室 Tel.554-1223

教育随想

『中学生職場体験に想う』

玉川上水の堤に桜が満開となり新年度がスタートした。三寒四温?春の気候は必ずしもこよみの通りとは成らずとも、季節は進み初夏へと移行した。学校行事も、入学式・遠足・修学旅行・運動会等々盛り沢山な内容である。今年も又、中学生の職場体験が市内事業所のご協力により、二中を皮切りに始まった。働く事の重要性、辛さ、喜び、親への感謝の念を学ぶ事が主たる目的である。

五日間の体験学習を経て生徒達の体験レポートを読むと、顧客への感謝の気持ち・共に働く仲間への気遣い・地域貢献の重要性を実感した様子にさながら立派な「社会人」を感じた。

平成の時代に育った子どもたちが、日本の内外は元より宇宙までへと羽ばたく……。大いに結構な事である。

しかし、この地で働く者の一人として、近い将来にこの逸材達と共に働く喜びを感じ得たい。

改めてその様な夢を描かされた。

教育委員 島田 哲一郎

